

4月のもも組（出会いの保育）



入園式翌日から、今まで一緒に過ごしていたかのように、同じ遊びを楽しむ姿が見られました。

今は、マークや名前に興味もてるような取り組みをして、「名前を呼ぶこと」で、関わりに繋がっていくようにしています♪



自分の好きな遊びや安心できる居場所を見つけられています。その中で、玩具の貸し借りや、自分の気持ちと違う気持ちとどう関わっていくかを一緒に考えています。時には言葉が強くなったり、涙がでることもあります。集団で一緒に過ごすからこそ得られる学びです。



戸外には、保育者が準備したくても準備できない、虫、植物、風、気温、通っていく人…など様々な環境がたくさんあります。その中でも、砂遊びやブランコ、裸足になって遊ぶことがお気に入りのようです。砂で遊ぶこと一つも、見立てること、水を混ぜて泥に変わる発見をすること、どうすれば思い通りの形になるか考えること…など様々な学びがあります。



朝や帰りのサークルタイムでは、季節に応じた歌をうたったり、絵本を読んだり…。名前を呼んでみたり、日付の確認をしたり…「朝だ！」「もう帰るんだ！」と、子ども達の生活のリズムを作る大切な時間にもなっています。



手形と足形を取ってこいのぼり制作を行いました。そのまま絵具のついた手足を大きな布にペタペタ！もも組だけの特別なこいのぼりが完成しました。風で泳ぐ姿を再現するために、一生懸命大きなこいのぼりをもって園庭を駆け回っていました。

